

## (2) 教員個室等の教員研究室の整備状況

### 現状の説明

教員には個人研究室が割り当てられているが、大学院指導に関する個別の配慮は実施していない。

### 点検・評価

### 長所と問題点

### 将来の改善・改革に向けた方策

今後は、検討中の学部を含めた研究分野制の導入により、新しい学生研究室の補充とともに研究室体制を整備する予定である。

## (3) 教員の研究時間を確保させる方途の適切性

### 現状の説明

近年の学部教育の一層の充実にともない、厳しい状況ではあるが、教員は夏季休業期間等を有効に活用し研究時間を確保している。

## (4) 共同研究費の制度化の状況とその運用の適切性

### 現状の説明

学内共同研究費は、大学の総合情報研究所が管理しており、大学院とは独立して運用している。これは若手教員の育成にも配慮しており、大学院担当教員に将来任用される人材の育成につながると考えられる。

## 2 競争的な研究環境創出のための措置

### (1) 科学研究費補助金及び研究助成財団などへの研究助成金の申請とその採択の状況

#### 現状の説明

科学研究費補助金の採択状況は、大学基礎データ「V 研究活動と研究体制の整備」「9 科学研究費の採択状況」のとおりである。

#### 点検・評価

#### 長所と問題点

#### 将来の改善・改革に向けた方策

科学研究費補助金の採択状況は低迷している。その理由は、学術フロンティアなどの大規模な助成プロジェクトに全学的に参画しているからであるが、今後、科学研究費補助金や研究助成財団などへの研究助成金の申請を活発化し、充実した研究環境を創出していきたい。